

健康づくりは幸せづくり
Making Health is making happiness

第54期

中間期株主通信

平成19年4月1日～平成19年9月30日



ゼリア新薬

ZERIA



株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、
ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。
第54期中間期の事業概況に関しまして、
ここにご報告させていただきます。

代表取締役社長

伊部 幸顕

Contents

| | |
|-------------------|------|
| 株主の皆様へ | P.1 |
| 営業の概況(連結) | P.2 |
| 研究開発 | P.5 |
| 株主様ご優待のお知らせ | P.6 |
| 財務諸表 | P.7 |
| 会社情報 | P.9 |
| 株式情報 | P.10 |

Z・E・R・I・A Five コーポレート・スピリッツ／企業理念



営業の概況（連結）

当中間期の業績

当中間期（平成19年4月1日～平成19年9月30日）の業績は、売上高244億64百万円(前年同期比3.6%減)となりました。利益につきましては、営業利益9億43百万円(前年同期比32.8%増)、経常利益9億36百万円(前年同期比29.5%増)、中間純利益6億62百万円(前年同期比23.2%増)となりました。

なお、当中間期の配当につきましては、前年度と同額の1株につき8円とさせていただきます。

事業部門別状況

●医療用医薬品部門

医療用医薬品部門におきましては、プロモーションコードの遵守を基本に、MR(医薬情報担当者)の資質の向上と学術情報活動の一層の充実を図ってまいりました。最重点領域である消化器官用薬におきましては、市場環境の変化と市場競争の激化する中、亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック®」は、口腔内崩壊錠「プロマック® D錠75」の市場浸透が進み売上は増加しました。また、米国インカイン社より導入した大腸

内視鏡前腸洗浄剤「ビジクリア®錠」を6月に発売いたしました。しかし、H₂受容体拮抗剤「アシノン®カプセル75・150」、胃炎・潰瘍治療剤「マーズレン®-S顆粒・ES錠」は、売上が減少いたしました。

これらの結果、当部門の売上高は、152億2百万円（前年同期比8.1%減）となりました。

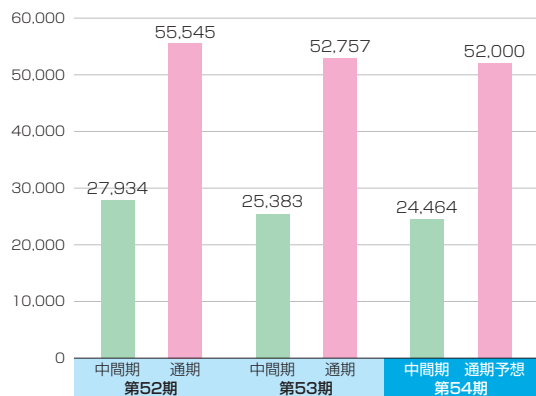
●コンシューマーヘルスケア部門

コンシューマーヘルスケア部門におきましては、超高齢社会が進展する中、セルフプリベンションを指向した製品の供給を通じて市場構築を進めてまいりました。

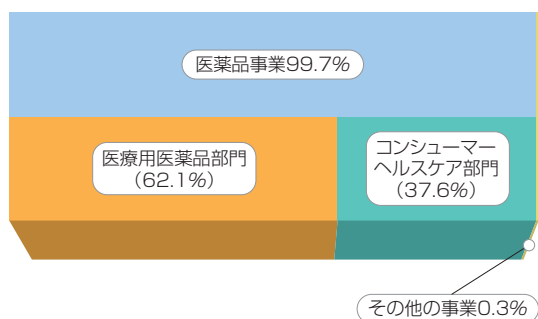
中でも主力製品群である「コンドロイチン群」は、競合品が多数ある中で引き続き順調に伸長し、関節痛内服薬市場でトップブランドの地位を堅持いたしました。また、植物性便秘薬「ウィズワン®群」も堅調に推移するなど、製品特性の訴求による市場拡大に努めてまいりました。しかしながら、市場競争の激化により、滋養強壮剤「ヘパリーゼ®群」など、一部の製品群は苦戦を余儀なくされました。

これらの結果、当部門の売上高は91億91百万円（前年同期比4.9%増）となりました。

連結売上高(単位:百万円)



事業別売上高構成



営業の概況（連結）

研究開発の状況

研究開発部門におきましては、国際的に通用する新薬の創製を念頭に、自社オリジナル品の海外での臨床試験を積極的に推進するとともに、海外で実績がある薬剤を導入し、国内での開発を進めております。

注力領域である消化器分野の新薬パイプライン強化に取り組む中で、米国インカイン社より導入した大腸内視鏡前腸管洗浄剤「ビジクリア®錠」は、平成19年4月に承認され、6月に発売いたしました。

また、スイス・ティロツツ社より導入した炎症性腸疾患治療剤「Z-206」は、潰瘍性大腸炎を対象としたフェーズⅢを実施しており、クローン病については、協和発酵工業株式会社と平成19年1月に締結した共同開発及び共同販売契約に基づき、臨床試験の準備を同社と共同して進めております。

日米欧3極で開発を進めている自社オリジナル品の「Z-338」は、機能性ディスペプシアを適応として国内ではフェーズⅡを終了し、フェーズⅢ開始に向けての準備を進めております。また、欧州でフェーズⅡ、米国では実施許諾契約に基づきアステ



主要医療用医薬品等

| 種別 | 製品名 |
|----------|--|
| 消化器官用薬 | アシノンカプセル(75,150) |
| | プロマック顆粒15%・D錠75 |
| | マーズレンーS顆粒・ES錠 |
| | ビジクリア錠 |
| | 新レシカルボン坐剤 |
| 中枢神経系用薬 | ペオン錠80 |
| 循環器官用薬 | ランデル錠(10,20,40)・ポリドカスクレロール(0.5%,1%,3%注2mL) |
| 血液及び体液用薬 | アンサー20注 |
| 医療機器 | アピテン、シリンジアピテン |

ラス製薬株式会社がフェーズⅡを実施しております。

「プロマック®」につきましては、味覚障害を対象とした効能追加のフェーズⅢを実施しております。

「Z-360」は、欧州において膀胱癌に対するフェーズⅠb/Ⅱaを終了し、フェーズⅡ開始に向けた準備を進めております。また、「アンサー®注」は子宮頸癌に対する追加フェーズⅢを引き続き進めております。

独立行政法人科学技術振興機構の開発委託を受けたアレルギー性鼻炎治療剤「Z-207」は臨床試験開始に向けて準備を進めております。

また、平成19年8月にテムリック株式会社と共同開発及び独占的販売に関するライセンス契約を締結した肝細胞癌用薬「Z-208」につきましても、臨床試験開始に向けて準備を進めております。



主要一般用医薬品等

| 種別 | 製品名 |
|---------|---|
| 代謝性用薬 | コンドロイチンZ S錠 |
| | 新ヘパリーゼプラス・新ヘパリーゼドリンク |
| | ハイゼリーB・ハイゼリーBフレッシュ |
| | 新ローヤルゼレントB |
| 滋養強壯剤 | ハイゼリー顆粒・ハイゼリー散 |
| 胃腸薬 | ウィズワン・ウィズワンα・ウィズワンプラス・ウィズワンエル |
| 中枢神経系用薬 | セビーゴールド(カプセル、顆粒) |
| 医薬部外品 | ローヤルVH |
| | ビタヘルサン |
| 外皮用剤 | アボスティー(ローション・マイルドローション・モイスチャーローション・洗顔フォーム・クリーム) |
| | ドルマイシン軟膏 |
| | ドルマイコーチ軟膏 |
| 栄養補助食品 | 新健康習慣シリーズ |

「アシノン®錠75mg・150mg」につきましては、平成19年3月に承認され、11月より販売を開始いたしました。

コンシューマーヘルスケア製品につきましては、新製品、PB品を順次発売いたしました。

当中間期の研究開発費は23億98百万円（前年同期比17.0%減）となりました。

生産物流の状況

生産物流部門におきましては、品質の確保を第一として業務を進める中、生産関連部門では、より高い品質の確保を目指すとともに原価の低減をメインテーマとして業務を進めてまいりました。また、物流関連部門では、更なる業務の効率化とコストの低減に努めてまいりました。

なお、コンシューマーヘルスケア部門の事業拡充の一環として、総額約45億円を投資し、平成18年11月に竣工した筑波工場第2号棟は、平成19年1月より本稼働し、順調に操業を拡大しております。

通期の見通し

医療用医薬品部門におきましては、医療制度改革や企業再編など環境変化の一層の進展が予測される中、変化に迅速に対応するべく導入した情報システムの効果的な運用を推進いたします。また、営業力を強化する一方、引き続きITを利用したプロモーションシステムを活用することにより、既存製品の売上の増大とともに当計画期間中に上市する製品を早期に市場浸透させ、収益性の向上を推進いたします。これらにより消化器領域を中心に確固たる地位を築いてまいります。

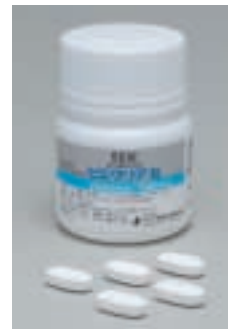
コンシューマーヘルスケア部門におきましては、超高齢社会の進展を背景に、消費者ニーズに応えた「コンドロイチン群」は第5次中期経営計画期間において業界トップの地位を固めました。当計画期間においても、更なる顧客拡大に注力するとともに、新たなナショナルブランド品の育成を進めてまいります。また、改正薬事法に基づく一般用医薬品の新販売制度が平成21年までに完全施行される中、セルフメディケーションの高まりに応えるスイッチOTC薬の推進も含めて、業界内での地位向上を目指してまいります。

研究開発におきましては、国際社会に貢献する新薬創出を目指して医療用医薬品の新薬パイプラインの一層の充実を計画しております。当計画期間中に、新薬3品目、適応症追加

クローズアップ

ビジクリア®錠発売

平成19年6月に、医療用医薬品として「ビジクリア®錠」の発売を開始しました。日本で初めての錠剤型腸管洗浄剤で、服用のしやすさが大きな特長です。国内で年間に実施される大腸内視鏡検査数は、約200万件以上。今後も年々増加が予想されることから、市場規模の拡大が見込まれます。



1品目、剤型追加2品目以上の上市を見込んでおり、現在までに新薬2品目、剤型追加2品目を上市いたしました。また、超高齢社会が進展する中、セルフメディケーションに貢献できるスイッチOTC薬等を含めたコンシューマーヘルスケア製品の開発を積極的に進めてまいります。

生産物流部門におきましては、コンシューマーヘルスケア部門の事業拡充の一環として、平成18年11月に竣工した筑波工場第2号棟は平成19年1月より本稼働し、順調に操業を拡大しております。営業部門及び開発部門との連携のもと生産性向上によるコスト削減と高い品質を確保してまいります。

更に、当社グループ全域にわたる生産性向上を狙い、統合基幹システムの構築を計画・推進しており、これらを活用しながら事業の効率化を推進してまいります。また、会社法、金融商品取引法等の施行に対応した内部統制の体制整備とその運営を強化し、当社グループ経営の信頼性を更に高める努力を継続してまいります。

医薬品業界におきましても再編淘汰の動きが活発化する中、当社グループは、医薬品事業のみならずその周辺事業を含めた分野において、企業提携等の実現に向け、積極的な展開を計画しております。

こうした中、平成20年3月期（平成19年度）の連結業績予測につきましては、売上高520億円（前期比1.4%減）、営業利益24億円（前期比30.2%減）、経常利益23億円（前期比31.2%減）、当期純利益15億円（前期比27.5%減）、となる見込みです。

また、平成20年3月期（平成19年度）の配当につきましては、1株につき年間16円（中間8円、期末8円）を予定しております。

研究開発

当社における新薬のパイプラインは国内外を合わせて11テーマであります。

研究開発の状況

I. 国内開発状況

1) 消化器系分野

| 開発段階 | 開発番号/一般名 | 開発 | 適応症 | 作用機序及び特長 | 備考 |
|----------------|----------------------|------------------|------------|----------------------------|-----------------|
| フェーズⅢ | Z-206/ メサラジン | 自社 | 潰瘍性大腸炎 | pH依存型放出制御製剤 | 導入 |
| | Z-206/ メサラジン | 共同開発 (協和発酵工業) | クローン病 | pH依存型放出制御製剤 | 導入 |
| | Z-103/ ポラプレジンク | 自社 | 味覚障害 | 亜鉛補充 | 導入 プロマック効能追加 |
| フェーズⅢ 準備中 | Z-338/ Acotiamide | 自社 | 機能性ディスペプシア | 上部消化管運動改善作用 | 自社オリジナル |
| フェーズⅠ/Ⅱ 準備中 | Z-208/ タミバロテン | 共同開発 (テムリック) | 肝細胞癌 | レチノイン酸RAR α 受容体作動作用 | 導入 |

2) その他の分野

| 開発段階 | 開発番号/一般名 | 開発 | 適応症 | 作用機序及び特長 | 備考 |
|---------------|----------|----|----------|-------------------------------|---------------------|
| フェーズⅢ 追加試験 | Z-100 | 自社 | 子宮頸癌 | 免疫調節作用 | 自社オリジナル アンサー効能追加 |
| フェーズⅠ 準備中 | Z-207 | 自社 | アレルギー性鼻炎 | 粘膜組織凝固・収縮作用 エタノール・ステロイド配合剤 | 導入 |

II. 海外開発状況

| 開発段階 | 開発番号/一般名 | 開発 | 適応症 | 作用機序及び特長 | 備考 |
|------------------|----------------------|---------------------|------------|-----------------------|---------------|
| フェーズⅢ (韓国) | Z-103/ ポラプレジンク | 導出 (SK Chemical) | 胃炎・胃潰瘍 | 胃粘膜保護作用 | 導入 |
| フェーズⅡ (欧州) | Z-338/ Acotiamide | 自社 | 機能性ディスペプシア | 上部消化管運動改善作用 | 自社オリジナル |
| フェーズⅡ (北米) | Z-338/ Acotiamide | 共同開発 (アステラス製薬) | 機能性ディスペプシア | 上部消化管運動改善作用 | 導出 自社オリジナル |
| フェーズⅡ準備中 (欧州) | Z-360 | 自社 | 膵臓癌 | ガストリンCCK $_2$ 受容体拮抗作用 | 自社オリジナル |

株主様ご優待のお知らせ

当社は、株主の皆様の日頃のご支援・ご協力への感謝の印として、株主優待制度を行っており、4つのコースから、ご希望のいずれかをお届けいたします。ご試用によって、当社の幅広い製品構成をご理解いただきたく、よろしくお願ひ申しあげます。

Aコース からだの脂肪を考へる、新コンセプト食品 『新健康習慣』(1週間セット2箱)

『新健康習慣』は、各種栄養成分をバランスよく配合した1食約220Kcalという低エネルギーの食生活サポート食品です。「体脂肪率が高い」「健康的なウエイトコントロールをしたい」といった方におすすめです。



Bコース 健康飲料『コンドロビー濃縮液 潤甦(じゅんこう)』 (720mL入り2本セット)

『コンドロビー濃縮液 潤甦(じゅんこう)』は1日の摂取目安量90mL中にコンドロイチン硫酸1,560mg、グルコサミン1,000mg及びコラーゲンペプチド1,000mgも摂取できるように配合しており、若々しく活動的にすごしたいと願う方におすすめの健康飲料です。



Cコース 美容・健康商品 『化粧品・ミニドリンク剤 詰め合わせセット』



大人ニキビ対策として好評いただいているコンドロイチン含有の『アポスティー洗顔フォーム』及び『アポスティーマイルドローション』を各2本と、ローヤルゼリー、ヨクイニン、ビタミン類を配合し1本わずか2Kcalノンシュガータイプのミニドリンク剤ローヤルゼリー配合『ももの味』ノンシュガー、同『りんご味』ノンシュガー各10本入り1箱をセットにしました。

『アポスティー洗顔フォーム』(化粧品) 60g×2本
『アポスティーマイルドローション』(医薬部外品) 150mL×2本
ローヤルゼリー配合『ももの味』ノンシュガー(医薬部外品) 50mL×10本入り1箱
ローヤルゼリー配合『りんご味』ノンシュガー(医薬部外品) 50mL×10本入り1箱

Dコース コンドロイチン配合夜間集中美容液(化粧品) 『ZZ:CC(ジージー・シーシー) アドソープエッセンス』(1本)

『ZZ:CC(ジージー・シーシー)アドソープエッセンス』は当社が長年研究を続けてきたコンドロイチンを配合した「夜間集中美容液」です。高純度コンドロイチンと従来の美肌成分コラーゲン、ヒアルロン酸を独自の割合で配合。これを新・機能性保湿&保護成分「スキルーツPGⅢ」と名付けました。更に持続性ビタミンC誘導体やビタミンP誘導体及び、各種植物エキスも配合しました。夜間集中してお使いいただくことで、眠っている間に角質層まで十分浸透し、翌朝まで肌の水分をとらえて逃がさない一方、美肌成分を送りつづけて透明感のある素肌を目指します。



財務諸表

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

| 科目 | 期別 | 前中間期末 | 当中間期末 |
|----------------|----|--------------|--------------|
| | | 平成18年9月30日現在 | 平成19年9月30日現在 |
| [資産の部] | | | |
| 流動資産 | | 25,704 | 23,755 |
| 現金及び預金 | | 1,868 | 2,064 |
| 受取手形及び売掛金 | | 15,525 | 12,401 |
| たな卸資産 | | 4,517 | 5,079 |
| 繰延税金資産 | | 842 | 755 |
| その他 | | 2,985 | 3,495 |
| 貸倒引当金 | | △35 | △40 |
| 固定資産 | | 32,555 | 33,535 |
| 有形固定資産 | | 18,522 | 19,745 |
| 建物及び構築物 | | 4,654 | 6,431 |
| 機械装置及び運搬具 | | 1,274 | 3,153 |
| 土地 | | 9,808 | 9,847 |
| その他 | | 2,785 | 313 |
| 無形固定資産 | | 1,134 | 1,492 |
| 投資その他の資産 | | 12,897 | 12,297 |
| 投資有価証券 | | 7,059 | 6,746 |
| 長期前払費用 | | 3,856 | 3,290 |
| 繰延税金資産 | | 300 | 532 |
| その他 | | 1,793 | 1,822 |
| 貸倒引当金 | | △112 | △94 |
| 資産合計 | | 58,259 | 57,290 |
| [負債の部] | | | |
| 流動負債 | | 21,408 | 18,995 |
| 支払手形及び買掛金 | | 6,312 | 5,257 |
| 短期借入金 | | 10,911 | 8,908 |
| その他 | | 4,184 | 4,829 |
| 固定負債 | | 8,187 | 9,064 |
| 社債 | | 1,000 | 2,000 |
| 長期借入金 | | 5,737 | 5,914 |
| 退職給付引当金 | | 1,148 | 847 |
| その他 | | 301 | 302 |
| 負債合計 | | 29,595 | 28,059 |
| [純資産の部] | | | |
| 株主資本 | | 27,143 | 28,212 |
| 資本金 | | 6,593 | 6,593 |
| 資本剰余金 | | 5,414 | 5,414 |
| 利益剰余金 | | 21,481 | 22,999 |
| 自己株式 | | △6,346 | △6,795 |
| 評価・換算差額等 | | 1,520 | 1,018 |
| その他有価証券評価差額金 | | 1,509 | 1,018 |
| 繰延ヘッジ損益 | | 11 | — |
| 純資産合計 | | 28,663 | 29,230 |
| 負債純資産合計 | | 58,259 | 57,290 |

中間連結損益計算書 (要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

| 科目 | 期別 | 前中間期 | 当中間期 |
|--------------|----|-------------------------|-------------------------|
| | | 平成18年4月1日から平成18年9月30日まで | 平成19年4月1日から平成19年9月30日まで |
| 売上高 | | 25,383 | 24,464 |
| 売上原価 | | 12,033 | 11,574 |
| 売上総利益 | | 13,349 | 12,889 |
| 販売費及び一般管理費 | | 12,639 | 11,946 |
| 営業利益 | | 710 | 943 |
| 営業外収益 | | 148 | 238 |
| 営業外費用 | | 135 | 245 |
| 経常利益 | | 723 | 936 |
| 特別利益 | | 370 | 217 |
| 特別損失 | | 48 | 7 |
| 税金等調整前中間純利益 | | 1,045 | 1,146 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 298 | 379 |
| 法人税等調整額 | | 208 | 104 |
| 中間純利益 | | 537 | 662 |

中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

| 科目 | 期別 | 前中間期 | 当中間期 |
|------------------|----|-------------------------|-------------------------|
| | | 平成18年4月1日から平成18年9月30日まで | 平成19年4月1日から平成19年9月30日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | △983 | 703 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △2,580 | △785 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | 3,285 | △5 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | 0 | 0 |
| 現金及び現金同等物の減少額 | | △279 | △88 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | | 2,015 | 2,025 |
| 現金及び現金同等物の中間期末残高 | | 1,736 | 1,937 |

中間連結株主資本等変動計算書 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)

(単位：百万円、端数切捨て)

| 項目 | 株主資本 | | | | | 評価・換算差額等 | | | 純資産合計 |
|---------------------------------|-------|-------|--------|--------|--------|------------------|-------------|----------------|--------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損益 | 評価・換算 差額等合計 | |
| 平成19年3月31日残高 | 6,593 | 5,414 | 22,673 | △6,585 | 28,096 | 1,498 | 2 | 1,500 | 29,597 |
| 中間連結会計期間中の変動額 | | | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △336 | | △336 | | | | △336 |
| 中間純利益 | | | 662 | | 662 | | | | 662 |
| 自己株式の取得 | | | | △210 | △210 | | | | △210 |
| 株主資本以外の項目の中間連結会計 期間中の変動額(純額) | | | | | | △479 | △2 | △482 | △482 |
| 中間連結会計期間中の変動額合計 | — | — | 326 | △210 | 116 | △479 | △2 | △482 | △366 |
| 平成19年9月30日残高 | 6,593 | 5,414 | 22,999 | △6,795 | 28,212 | 1,018 | — | 1,018 | 29,230 |

中間個別財務諸表

中間貸借対照表 (要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

| 科目 | 期別 | 前中間期末 | 当中間期末 |
|----------------|----|--------------|--------------|
| | | 平成18年9月30日現在 | 平成19年9月30日現在 |
| [資産の部] | | | |
| 流動資産 | | 25,318 | 23,268 |
| 固定資産 | | 31,051 | 31,949 |
| 有形固定資産 | | 16,761 | 17,893 |
| 無形固定資産 | | 1,134 | 1,491 |
| 投資その他の資産 | | 13,155 | 12,563 |
| 資産合計 | | 56,369 | 55,217 |
| [負債の部] | | | |
| 流動負債 | | 20,816 | 18,187 |
| 固定負債 | | 7,161 | 8,161 |
| 負債合計 | | 27,977 | 26,348 |
| [純資産の部] | | | |
| 株主資本 | | 26,872 | 27,851 |
| 資本金 | | 6,593 | 6,593 |
| 資本剰余金 | | 5,414 | 5,414 |
| 利益剰余金 | | 21,210 | 22,638 |
| 自己株式 | | △6,346 | △6,795 |
| 評価・換算差額等 | | 1,519 | 1,018 |
| その他有価証券評価差額金 | | 1,508 | 1,018 |
| 繰延ヘッジ損益 | | 11 | — |
| 純資産合計 | | 28,391 | 28,869 |
| 負債純資産合計 | | 56,369 | 55,217 |

中間損益計算書 (要旨)

(単位：百万円、端数切捨て)

| 科目 | 期別 | 前中間期 | 当中間期 |
|--------------|----|-----------------------------|-----------------------------|
| | | 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで | 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで |
| 売上高 | | 25,042 | 24,088 |
| 売上原価 | | 11,856 | 11,428 |
| 売上総利益 | | 13,186 | 12,660 |
| 販売費及び一般管理費 | | 12,559 | 11,876 |
| 営業利益 | | 627 | 784 |
| 営業外収益 | | 381 | 346 |
| 営業外費用 | | 122 | 230 |
| 経常利益 | | 886 | 899 |
| 特別利益 | | 369 | 217 |
| 特別損失 | | 48 | 6 |
| 税引前中間純利益 | | 1,207 | 1,110 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 279 | 319 |
| 法人税等調整額 | | 197 | 107 |
| 中間純利益 | | 730 | 683 |

会社情報

(平成19年9月30日現在)

会社概要

| | |
|--------|---|
| 創立 | 1955年12月 |
| 資本金 | 6,593,398,500円 |
| 社員数 | 1,136名 |
| 主な事業内容 | 1. 医薬品、医薬部外品、試薬の製造、 販売及び輸出入 2. 化粧品、健康食品、清涼飲料、 衛生雑貨、医療機器の製造、 販売及び輸出入 |

役員

| | |
|---------|------|
| 代表取締役社長 | 伊部幸顕 |
| 常務取締役 | 猪口博明 |
| 常務取締役 | 長江晴男 |
| 常務取締役 | 斎藤武晃 |
| 取締役 | 大野晃一 |
| 取締役 | 吉島光雅 |
| 取締役 | 熊井雅典 |
| 取締役 | 永谷康幹 |
| 取締役 | 菅宏章 |
| 取締役 | 瀬山茂之 |
| 取締役 | 堀博之 |
| 取締役 | 竹内治之 |
| 取締役 | 吉村和彦 |
| 取締役 | 山本隆光 |
| 取締役 | 降旗繁弥 |
| 取締役 | 遠藤広和 |
| 常勤監査役 | 浜野峻至 |
| 常勤監査役 | 花田雅彦 |
| 監査役 | 小森哲夫 |
| 監査役 | 中由規子 |

事業所

| | |
|----------|--|
| ●本社 | ●京都営業所 |
| ●札幌支店 | ●金沢営業所 |
| ●仙台支店 | ●中四国支店 |
| ●東京支店 | ●岡山営業所 |
| ●神奈川営業所 | ●高松営業所 |
| ●埼玉営業所 | ●松山営業所 |
| ●千葉営業所 | ●福岡支店 |
| ●北関東営業所 | ●中央研究所 |
| ●関越営業所 | ●埼玉工場 |
| ●甲信営業所 | ●筑波工場 |
| ●名古屋支店 | ●東京物流センター |
| ●静岡営業所 | ●札幌物流センター |
| ●大阪支店 | ●埼玉物流センター |
| ●大阪第二営業所 | ●大阪物流センター |
| ●神戸営業所 | |
| ●出張所 | |
| | 青森・郡山・宇都宮・富山・米子・山口・高知・徳島・大分・ 熊本・長崎・鹿児島・沖縄 |

連結子会社

ゼリアヘルスウェイ株式会社

資本金 85百万円 (持株比率100%)
事業内容 健康食品の仕入・販売

株式会社ゼービス

資本金 1億80百万円 (持株比率100%)
事業内容 保険代理業・不動産業等

株式情報 (平成19年9月30日現在)

株式の状況

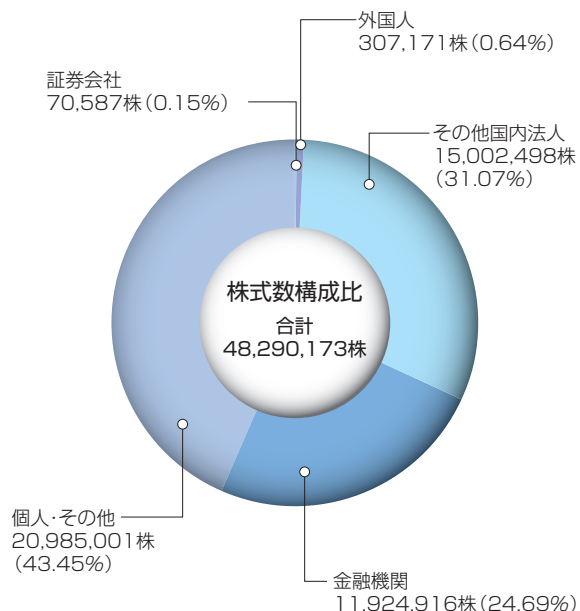
| | |
|-----------|--------------|
| ①発行可能株式総数 | 119,860,000株 |
| ②発行済株式総数 | 48,290,173株 |
| ③株主数 | 3,786名 |

大株主

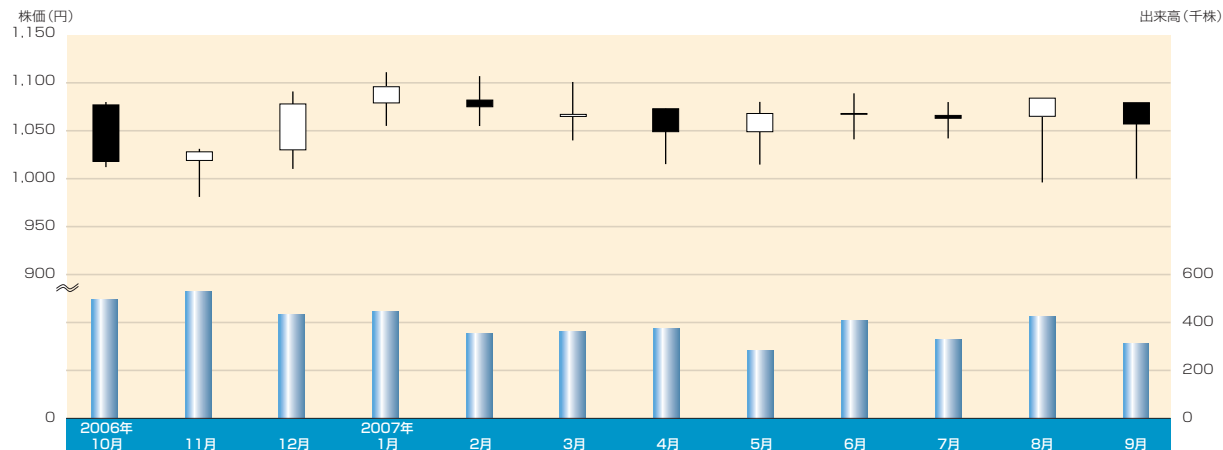
| 株主名 | 持株数(株) | 出資比率(%) |
|-------------------------------|-----------|---------|
| 有限会社伊部 | 5,510,770 | 13.2 |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 1,915,500 | 4.6 |
| 森永乳業株式会社 | 1,854,741 | 4.4 |
| ゼリア新薬工業従業員持株会 | 1,803,417 | 4.3 |
| 日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口) | 1,550,000 | 3.7 |
| 伊部 幸顕 | 1,415,425 | 3.4 |
| 株式会社三井住友銀行 | 1,278,301 | 3.1 |
| 株式会社りそな銀行 | 1,074,896 | 2.6 |
| あいおい損害保険株式会社 | 858,691 | 2.1 |
| 中央三井信託銀行株式会社 | 639,000 | 1.5 |

(注) 出資比率については、自己株式(6,424,807株)を控除して算出しております。

所有者別株式分布状況



株価及び出来高の推移



株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 3月31日
権利行使株主確定日
- 期末配当金 3月31日
受領株主確定日
- 中間配当金 9月30日
受領株主確定日
- 定時株主総会 6月下旬
- 公告方法 電子公告による
<http://www.zeria.co.jp/>
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。
- 株主名簿管理人 〒105-8574
東京都港区芝三丁目33番1号
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
中央三井信託銀行株式会社証券代行部
0120-78-2031（フリーダイヤル）
- 同 取 次 所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
- 証券コード 4559

(お知らせ)

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙ご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤルまたはインターネットホームページ

☎0120-87-2031

http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.htmlで24時間受付しております。

最新のIR情報は当社ホームページをご覧ください。

URL <http://www.zeria.co.jp/>



当社ではスピーディーに正確な情報をご提供するため、ホームページを開設しております。株主・投資家の皆様向けのIR情報から最新のニュースまで幅広い内容となっておりますので、ぜひ一度、ご覧ください。



ゼリア新薬工業株式会社 お客様相談室

〒103-8351 東京都中央区日本橋小舟町10-11
TEL 03-3663-2351 (代表) FAX 03-3663-2352
03-3661-2080
<http://www.zeria.co.jp/>